

2025年度事業実績報告の概要（小規模事業経営支援事業費補助金関係）

団体名： 春日井商工会議所

事業名	事業概要（背景・目的）	事業実績	主たる対象者	事業評価															
				目標①			目標②			得られた効果	A B C D 評価					今後の展開・改善点等		備考	
				指標	実績数値	達成度	指標	実績数値	達成度		総合評価	事業実施評価	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標①		目標②
巡回・窓口相談指導事業	厳しい経済情勢により経営に影響を受けている小規模事業者を中心に巡回及び窓口において相談・指導を行うとともに、タイムリーな情報提供と経営支援を行い、経営基盤の安定強化に努める。	巡回・窓口指導 実企業数 608社 延件数 1,051件 課題解決提案件数 88件 経営革新計画、経営力向上計画、先端設備等導入計画承認件数9件	小規模事業者	指標	巡回窓口指導延件数 (達成度 84.2 %)	指標	課題解決提案件数 (達成度 110.0 %)	巡回指導及び窓口相談対応により、小規模事業者が抱える経営課題の解決・経営改善に繋がった。	総合評価	A	事業実施評価	自己評価 B 目標達成度 B	調査結果 A 必要性 A	満足度 A	補足	目標① 現行どおり 実施方法①	目標② 現行どおり 実施方法②	巡回・窓口相談対応により、小規模事業者個々の課題を把握し、よりきめ細かな支援を実施していく。	
記帳継続指導	小規模の個人事業主を対象として、日々の記帳処理から決算・申告までを習得し自主申告することを目的に、定期的に対面指導を行う。経営状態が把握できるようにすることで、経営力強化や事業拡大に繋げる。	記帳対象者数 92人 指導延日数 491日 指導延回数 984回 税務連絡協議会	小規模事業者	指標	記帳指導延回数 (達成度 94.6 %)	指標	課題解決提案件数 (達成度 %)	小規模個人事業者の自主申告に向け、記帳・確定申告につき丁寧な指導を実施した。また、経営状況把握に寄与した。インボイス制度について周知ができた。	総合評価	A	事業実施評価	自己評価 A 目標達成度 B	調査結果 A 必要性 A	満足度 A	補足	目標① 下げる 実施方法①	目標② 現行どおり 実施方法②	インボイス制度・電子帳簿保存法に対応した、時節に応じた支援を実施する。	
講習会等	小規模事業者等に対し必要な経営知識を提供し、資質向上と経営体質の強化に資することを目的とする。	集団指導 8回 137人 (内、経営革新セミナー 1回 16人) 個別指導 138回 440人 計 146回 577人	小規模事業者	指標	個別指導参加延人数 (達成度 107.1 %)	指標	課題解決提案件数 (達成度 %)	小規模事業者の経営改善・経営革新・体質強化に繋げることができた。	総合評価	A	事業実施評価	自己評価 A 目標達成度 A	調査結果 A 必要性 A	満足度 A	補足	目標① 下げる 実施方法①	目標② 現行どおり 実施方法②	経営環境変化に対応した、時節に乗った講習会を実施していく。	
若手後継者育成事業	企業経営者(後継者等)、企業経営に携わる女性に対し、研修会等を開催し企業経営者等として研鑽を積む。また、当所事業活動に積極的に参画・協力を通じて地区内の商工業の振興を図ることを目的とする。	青年部 会員数 157名 役員会等 24回 総会3回 定例会 11回 研修会3回 女性会 会員数 52名 理事会等 12回 研修会2回 交流会3回 講演会1回	小規模事業者	指標	青年部会員数 (達成度 104.7 %)	指標	女性会会員数 (達成度 104.0 %)	青年部・女性会ともに会員数を増加させることができ、地域内商工業の振興に寄与した。	総合評価	A	事業実施評価	自己評価 A 目標達成度 A	調査結果 A 必要性 A	満足度 A	補足	目標① 現行どおり 実施方法①	目標② 現行どおり 実施方法②	会員の資質向上を図るとともに新規会員の加入促進に尽力し、会の維持拡大に努める。	
景気動向調査	小規模事業者の持続的発展に向け、業種別の景況、経済動向の調査と分析、周知を行う。	・L O B O 調査（商工会議所早期景気観測システム調査）5社	中小・小規模事業者	指標	LOBO調査対象事業所数 (達成度 100.0 %)	指標	課題解決提案件数 (達成度 %)	定期的な景気観測により業種別の経済動向の把握ができ、全国の傾向を周知できた。	総合評価	A	事業実施評価	自己評価 A 目標達成度 A	調査結果 A 必要性 A	満足度 B	補足	目標① 現行どおり 実施方法①	目標② 現行どおり 実施方法②	業種毎に企業を選定し、継続調査を行い、現実の景況の把握に努める。	○
経営計画策定支援	春日井市内の小規模事業者の経営課題を解決するため、専門家や関係機関、金融機関と連携し、伴走型支援により事業計画策定を支援する。小規模事業者の現状・課題・強みを把握し、より具体的な実現性の高い目標設定・計画策定について助言・指導をする。	・事業計画策定等に関するセミナー 1回、個別相談会 1回 ・経営計画策定 個別相談企業数 3社	小規模事業者	指標	セミナー、相談会開催回数 (達成度 66.7 %)	指標	個別相談企業数 (達成度 15.0 %)	セミナー・個別相談を通じて経営計画策定の支援ができた。	総合評価	B	事業実施評価	自己評価 B 目標達成度 C	調査結果 A 必要性 A	満足度 A	補足	目標① 現行どおり 実施方法①	目標② 現行どおり 実施方法②	経営計画策定の重要性を伝達し、自社経営の見直し・新事業展開の支援をしていく。	○
専門相談	小規模事業者が、効果的で実現性の高い計画を策定するため、伴走型支援事業を行い、相談会・企業派遣にて計画策定支援を行う。	専門家活用企業数 42社 伴走型支援事業（42社）	小規模事業者	指標	専門家活用企業数 (達成度 210.0 %)	指標	課題解決提案件数 (達成度 %)	伴走型による専門家相談を通じて実効性の高い経営計画の作成、課題解決に繋がった。	総合評価	A	事業実施評価	自己評価 A 目標達成度 A	調査結果 A 必要性 A	満足度 A	補足	目標① 現行どおり 実施方法①	目標② 現行どおり 実施方法②	専門家の活用により、より高度な経営課題の解決に向けた支援を実施する。	○
広報活動	小規模事業者の新商品や自社の取り組みを、マスメディア等へ露出提供、また広報誌等での情報発信により、需要開拓支援を実施する。	・地元新聞への記事掲載（プレスリリース支援） 掲載件数 27件 広報誌での情報提供 掲載企業数 14件	小規模事業者	指標	記事掲載件数 (達成度 225.0 %)	指標	掲載企業数 (達成度 58.3 %)	小規模事業者の広報・PR支援をし、需要開拓に繋がることができた。	総合評価	A	事業実施評価	自己評価 A 目標達成度 A	調査結果 A 必要性 A	満足度 A	補足	目標① 現行どおり 実施方法①	目標② 現行どおり 実施方法②	小規模事業者の周知・広報を手助けし、販路開拓の一翼を担う。	○
ビジネスマッチング事業	新たな市場の販路開拓や既存市場での新規取引先獲得の機会を提供し、春日井市内経済の活性化を図るとともに商取引の拡大に繋げる。	・展示会出展支援事業 出展企業数24社 展示商談会の販路開拓を目指す事業者へ出展サポートを行い、ビジネスチャンスの創出を図った。	中小・小規模事業者	指標	展示会出展企業数 (達成度 240.0 %)	指標	課題解決提案件数 (達成度 %)	企業の交流の場を提供し、新規取引先獲得の支援を実施した。	総合評価	A	事業実施評価	自己評価 A 目標達成度 A	調査結果 B 必要性 A	満足度 B	補足	目標① 現行どおり 実施方法①	目標② 現行どおり 実施方法②	継続的に販路開拓の場を設け、情報交換・新規取引促進を側面支援する。	○
広域商談会事業	あいち産業振興機構と尾張8商工会議所で共催する広域商談会(尾張会場)を開催し、ものづくり企業のビジネスマッチング機会を創出する。	・広域商談会 参加企業数 5社	中小・小規模事業者	指標	商談会参加企業数 (達成度 50.0 %)	指標	課題解決提案件数 (達成度 %)	地域外企業との新たな取引先獲得の場を提供できた。	総合評価	B	事業実施評価	自己評価 B 目標達成度 C	調査結果 B 必要性 A	満足度 B	補足	目標① 現行どおり 実施方法①	目標② 現行どおり 実施方法②	ビジネスマッチングの機会を提供し、新規取引先獲得の支援をしていく。	○

2025年度事業実績報告の概要（小規模事業経営支援事業費補助金関係）

団体名： 春日井商工会議所

事業名	事業概要（背景・目的）	事業実績	主たる対象者	事業評価										備考				
				目標①			目標②			得られた効果	A B C D 評価					今後の展開・改善点等		
				指標	実績数値	達成度	指標	実績数値	達成度		総合評価	実施評価	自己評価		調査結果	満足度	補足	目標①
創業支援事業	将来の日本を担う“ヤル気のある企業経営者”の創業を支援し、春日井市及びその周辺都市の活性化を図るとともに、事業所数の減少に歯止めをかけるため、経営に必要となる知識やノウハウを学べる創業塾を開催。受講者に対し、伴走型支援を行い、起業及び経営のサポートを行う。	・とうしゅん創業塾 参加者数 19名 ・かすがい創業塾 2回 参加者数 66名 ・経営強化塾 参加者数 10名	小規模事業者	指標	かすがい創業塾受講者数 (達成度 110.0 %)	指標	(達成度 %)	創業希望者に対し事業計画の策定や経営ノウハウ提供できた。 参加者同士の相互情報交換の場を提供できた。	総合評価	A	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	定期的・継続的に創業塾を開催することにより、次世代を担う起業家の育成支援を行う。冬も併催し起業を目指す方を支援していく。	
事業承継支援事業	経営者の高齢化や後継者不在という中小企業が増加しており、後継者不在による廃業の危機に瀕する中小企業が大きな課題となっている。 スムーズな事業承継を行うため、実務に必要な知識やノウハウを学ぶことが出来るセミナー等を開催する。	・事業承継セミナー 開催なし ・事業承継個別相談 2回 10名 ・春日井市事業承継連携会議 1回	小規模事業者	指標	セミナー受講者数 (達成度 0.0 %)	指標	個別相談会参加者数 (達成度 100.0 %)	諸事情によりセミナー開催できなかったが、個別相談会では事業承継の手続き等を支援することができた。	総合評価	B	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	当事業についてはR8重点実施項目に上げており、事業承継セミナー等、積極的に事業に取り組んでいく。	
人材育成事業	青年部のメンバーが講師となり、勤労観・職業観の育成を目的として、中学生や高校生を対象に、仕事や企業に関する講話を開催する。	・キャリア教育推進事業 講話会 開催数 6回、参加企業 55社	中小・小規模事業者	指標	講話会開催回数 (達成度 300.0 %)	指標	講話会参加企業数 (達成度 458.3 %)	中学生や高校生に対し、起業マインドの醸成や学業と職業の違いを伝達することができ、未来を担う人材の育成に繋げることができた。	総合評価	A	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	現役若手経営者による授業を通し、実際の企業経営者を目指す機会を創出し、学生の起業家マインドを育成する。	
雇用促進事業	春日井・小牧地域の中小・小規模事業者へ人材確保の機会を提供し、地元企業に就職を希望する求職者とマッチングさせることにより企業の採用計画をバックアップする。 又、人材確保に関わる自社課題の解決を図るため、専門家派遣を行う。	・高等学校進路指導担当教諭と企業採用担当者との懇談会 参加企業数 102社 ・大学内企業説明会 2回 参加企業 20社 ・専門家派遣事業 派遣件数 9社	中小・小規模事業者	指標	高校懇談会参加企業数 (達成度 102.0 %)	指標	専門家派遣件数 (達成度 90.0 %)	地元企業の採用活動を支援することができた。	総合評価	A	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	多くの学生等が地元企業の魅力を感じ就職に繋がるよう企業との連携を強化した事業を実施する。	
ブランドによる地域活性化推進事業	春日井市の知名度向上により都市間競争に打ち勝ち流入人口を増加させ、春日井市を活性化させるために、地域ブランドを活用した『活力ある春日井づくり』を推進し、地域力を向上させる。	ブランド化に関する会議 2回実施 ・ネビアプロジェクト 1回 ・春日井特産品認定プロジェクト 1回	小規模事業者	指標	検討会議開催回数 (達成度 66.7 %)	指標	(達成度 %)	地域ブランドの周知を図り、春日井市の知名度向上に貢献することができた。	総合評価	B	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	観光コンベンション協会との連携を密にし、地域ブランドの構築を図っていく。	
商店街・まちづくり事業	名古屋市のベッドタウンとして栄えた春日井市も今や30万人を有する中核都市に成長した。春日井市長が掲げるスローガン「ベッドタウンからライフタウンへ」を推進するために、春日井市や春日井市商店街連合会と連携し、市内商業・商店街の活性化策を推進し魅力あるまちづくりを図る。	・かすがいまちゼミ 参加店 57店 ・かすがいまちゼミinイース春日井(2日間) 参加店 16店	小規模事業者	指標	まちゼミ参加店数 (達成度 73.0 %)	指標	(達成度 %)	商店街の個店等個別店舗の魅力発信を支援でき参加店舗の来客数向上に貢献できた。	総合評価	B	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	春日井市・商店街連合会と連携し、市内企業・商店街の活性化に繋がるイベントへの参加を促していく。	
地域振興事業	会議所が推進する地域ブランド商品・春日井特産品認定商品を春日井まつりや市内イベント等で紹介するなど、広く市民にPRするとともに、販促活動及び観光振興を行う。	地域振興・観光振興イベントへの出店回数 4回	中小・小規模事業者	指標	イベント出店回数 (達成度 100.0 %)	指標	(達成度 %)	各イベントへの参加により地域ブランド商品の周知・販促活動の支援ができた。	総合評価	A	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	地域ブランドの販促につながるイベントへの積極的参加を促していく。	
部会・委員会事業	部会・委員会活動により、業種別・目的別の企画・立案・事業を開催し、よりきめ細かな支援を実施。経営改善の推進、地域の振興活性化を目指す。	・部会事業 41回 ・委員会開催 12回	小規模事業者	指標	部会事業開催数 (達成度 141.4 %)	指標	委員会開催数 (達成度 70.6 %)	部会事業・委員会活動により、業種別セミナー・講習会を開催し、会員企業の経営改善を支援した。	総合評価	A	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	社会情勢の変化やニーズに即した迅速な対応のため、常設委員会を6から4へ再編し活発な部会・委員会事業の推進する。	
福利厚生事業	経営と雇用の持続的安定を図るため、共済制度の普及・拡大による福利厚生の充実を図り、企業の発展を支援する。	・生命共済加入事業所数 754 社	小規模事業者	指標	生命共済加入事業所数 (達成度 95.3 %)	指標	(達成度 %)	加入企業の福利厚生の充実を図ることができ、経営安定の一助とすることができた。	総合評価	A	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	会員企業の福利厚生充実を図るため積極的な加入促進を実施する。	

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付しています。
 ※ 事業評価欄において、1つの事業で目標が2つある場合、目標達成度の評価は2つの平均となります。
 ※ 記載内容についての詳細資料は、各団体において整備しています。